

BUDDHIST MUSIC CONCERT 33rd

大原勝林院20回と雨宝山龍雲寺13回 あわせて

第33回 「天台聲明を聴く会」

—天台聲明を聴く会「法華三昧法要」—

■と き 2019年5月19日(日)午後6時開演

■と ころ 雨宝山龍雲寺(桃山善光寺)本堂

京都市伏見区桃山毛利長門東町37 電話075-611-4854

※駐車場はございません。JR桃山駅徒歩約10分、
京阪伏見桃山駅・近鉄桃山御陵前駅 徒歩約20分

■習礼曲目 法華三昧法要

今回お唱えする声明曲は、法華懺法という化儀の法要として組み立てられたものであります。法華懺法とは、普賢菩薩を本尊とし、法華経を誦することを中心に組み立てられている法儀です。中国天台の祖である智者大師智顛(538-597)が天台三大部の一つである『摩訶止観』の中に示した四種三昧(常行三昧・常坐三昧・半行半坐三昧・非行非坐三昧)の中の一つである半行半坐三昧にあたる修行法を自行のための法華三昧といえます。

また、天台大師には『法華三昧行法』または、『法華三昧懺儀』とよばれる著作があり、これを日本では伝教大師最澄(766-822)が伝え、のち慈覚大師円仁(794-864)が改訂しました。日本における法華三昧は、こうした法華懺法に集約された儀則になっており、大原魚山には毎年御懺法講として行われる声明懺法も伝承しています。

さて、法華懺法は、総礼伽陀という声明曲にはじまり、総礼三宝・供養文・法則・敬礼段とつづき五悔の内の懺悔段で六根懺悔を行い、四悔(勸請・随喜・回向・発願)・十方念仏・経段・十法念仏・後唄・三礼・七仏通戒偈・後夜偈(または晨朝偈・日中偈・黄昏偈・初夜偈・半夜偈などの六時偈)・早錫杖(九条錫杖の切音であるが略される場合が多い)・回向伽陀と続きます。

今回は一部を抜粋してお唱えさせていただきます。

声明をお聴きいただきながら、「懺法」とある通り我が心の奥をみつめ直し、犯してきた過ち、またこれから犯すかもしれない過ちができる限り少なくなるようお願いながら六眼(眼・耳・鼻・舌・身・意)を清らかにし、皆様の心の中におられます仏様にお出合いいただければ幸いです。また、私たちを悩ませる不安や迷い等の苦の解決は、「八正道」の教えの最初の正見が大切です。正見の「見る」はダルシャナ<知る・考える>の意味で<看る・観る>にあたります。<看る>は看病や看護の語の通り「こころをこめてみとる」ことで、「看経」のように「深いところを読み取る」、物事を知恵と慈悲のこころで深く観察することです。八正道の教えの最初が「よく見よ、よく考えよ、よく読み取れ」であることを忘れないように重ねて心にお留めいただきたくお願い申し上げます。

合掌

京都魚山声明研究会
代表 須川 實治

33
入場整理券

■出 仕(出演者)

本多 実信
木ノ下 寂俊
須川 實治
信楽 香爾
岸 舜栄
福井 邦憲

本郷 泉観
高山 良彦
大道 観健
穴穂 行仁
前田 浩紀
齋藤 良成

本多 寂信
木ノ下 寂優
黒崎 寂深
羽生田 光昭

—「天台聲明を聴く会」—

本会の南座聲明公演は、①1997(平成9)年8月、②2000(平成12)年7月、天納傳中先生亡き後③2004(平成16)年6月に公演、本年2019(平成31)年7月6日には第4回目を、「天台宗京都魚山聲明研究会」導師・本多実信(龍雲寺住職)と「浄土真宗西本願寺派」導師・今小路覚真(常楽寺住職)が競演、お世話は松竹・水口一夫と私が勤めさせて戴きます。

仏教音楽である聲明は、日本現代音楽の根本であるだけでなく、世界に通じる素晴らしい音楽であり文化であることを、中学の恩師である天納傳中先生がパリ1978(昭和53)年を皮切りに、ドイツ、イタリア、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、チェコ・プラハから招聘された聲明公演(CDやテープ)を聴きながら教えて戴きました。

京都コンサートホールの柿落としてである1995(平成7)年に、聲明とグレゴリア聖歌隊との共演が実現しました。その際には、聲明の伝統と文化が世界に通じる、和音ハーモニーの奥深さを思い知らされました。

更に、比叡山延暦寺根本中堂では、聲明と北欧のヨイク(伝統音楽)との共演があり、聲明がアカペラで世界に共通する土着民族の文化であり、日本国の誇れる伝統音楽であることを認識しました。

日本の尊い文化と伝統音楽を是非ともみなさんにお伝えすることが本会の目的であり、当初、聲明は法要などの儀式であり、一般には公演が成されて居ませんでした。天納傳中先生のお知恵により、聲明の練習風景をみなさんにお伝えする「初夜作法習礼風景・天台聲明を聴く会」を1987(昭和62)年4月発足～本年2019年第33回／年を迎えます。

2019年2月吉日

天台聲明を聴く会代表 田村佐起三

仏教音楽「天台聲明を聴く会」護持者(五十音順)

相崎晋一郎 赤松健一 赤松弘次郎 今小路覚真 今村愛作 内堀孝之 枝國栄一 榎本定文 大森剛
小川真太郎 沖本俊博 小田嶋翼 鍵澤学 笠松高史 笠松真衣 笠松美咲 合掌直彦 川上智史
川上弘泰 川澄丈温 川本幸子 川本幹雄 瓦達雄 瓦陸雄 木原京子 木原茂成 木原由稀 木村英輝
粉川剛 小西直人 佐々木達憲 高田正三 高田正人 高田みつる 田中利和 田村佐起三 田村泰佐
田村邇子 田村真紀 田村元起 田村綿絵 土屋宣之 橋渡明 原田礼造 東原叔之 廣瀬善彦 福村直
松本明慶 村上忍 持丸喜代治 森慎吾 山形美由紀 吉家國雄 吉田功 吉村敬之輔 和田康則 渡邊善忠
NPO法人京都高瀬川繁栄会

「天台聲明を聴く会」事務局長 高田正三 企画演出 水口一夫
ホームページ <http://shomyo-kikukai.com>